

2020年11月海洋観測結果について

10月26、27日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測地点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	13m	133.40	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

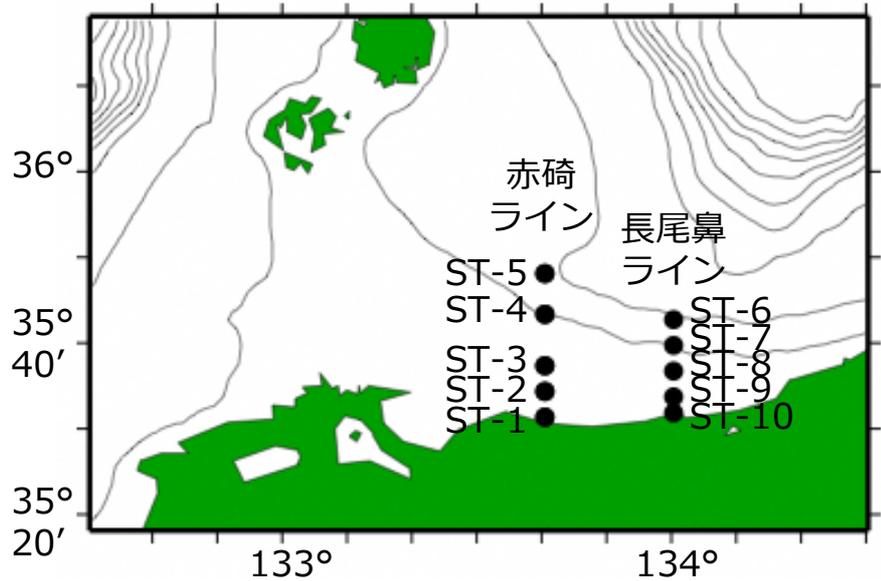


図1 観測地点

【鉛直分布図】

赤碕、長尾鼻ラインともに気温の低下に合わせ、鉛直混合が進み、赤碕では-97m、長尾鼻では-81.5mまで20℃以上でした。

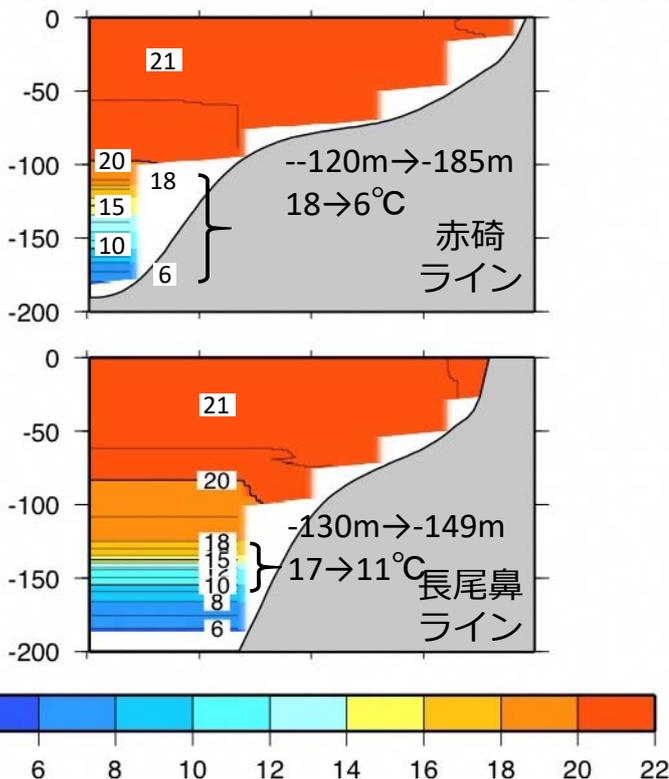
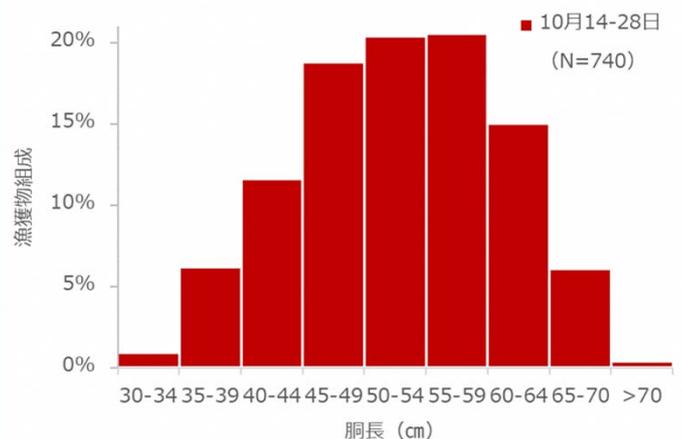


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

★ソデイカ（あかいか）情報★
10月中旬以降の漁獲物組成から小型個体の加入は少ないと考えられ、漁獲のピークは過ぎたと思われます。

賀露地方卸売市場におけるソデイカの漁獲物組成



【11月観測の水深帯別の比較】

2015年以降は、4-10月観測と期間的な海洋観測でしたが、今年度から周年実施することとしています。過去のデータとして比較できるのは3年分しかありませんが、今年水温が高く、特に90m深は、赤碕、長尾鼻とも3℃以上高い数値でした。

表2 各調査ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m
2020年	21.1	21.2	21.3	20.6	20.9	21.1	21.1	20.3
2011,13,14年平均	20.1	21.0	20.5	17.1	20.8	21.0	20.7	17.1
平年差	1.0	0.3	0.8	3.5	0.2	0.1	0.5	3.2

【2020年8月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの8月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。総漁獲量は、前年を上回ったものの5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均をヤリイカ（19tイカ釣）、たい類、ヒラマサ、カンパチ（あかひら）は上回り、ケンサキイカ（白いか）、ブリ、イワガキは下回りました。

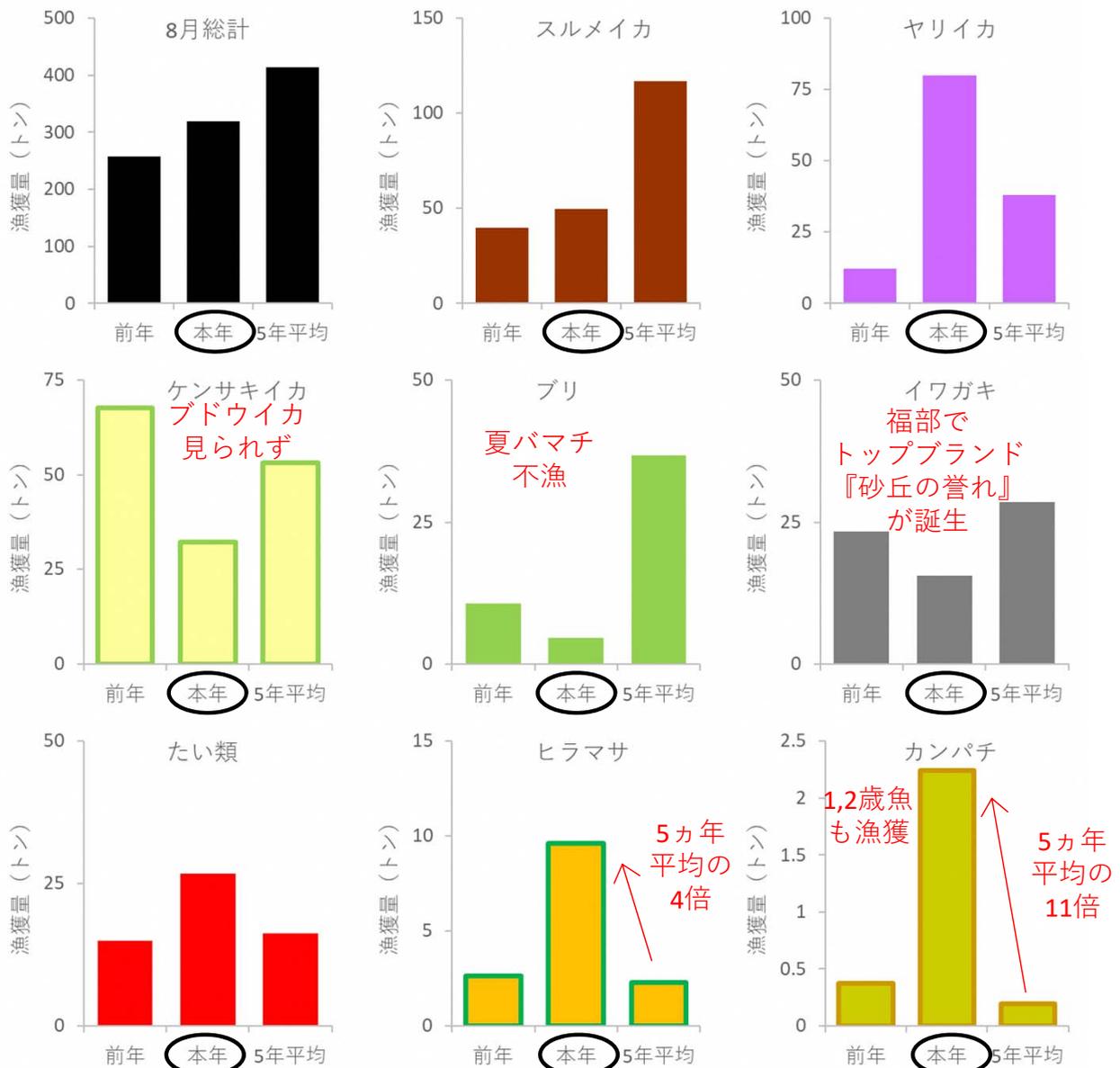


図3 8月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況